



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第404号

ありがとうございます。

これからもよろしくお願ひします。

信徒会長 上川 直子

5月に3回目の緊急事態宣言が出され、約1ヶ月ミサが中止となりました。ミサも再開しましたが、またいつ宣言が出されるか分からない日々を今も過ごしています。この状況の中、行事等をコロナ禍前のように計画を立てることが難しいと改めて思い知らされました。6月に信徒総会を行う予定でしたが、今の状況を踏まえ中止としました。今年是小教区委員の改選の年でもあり、総会で新旧の役員、各委員、地区委員の方々の引き継ぎを総会で紹介したかったのですが、7月の小教区委員会ですべて頂きました。長く小教区委員会で従事して頂いた方々には、「ありがとうございます」の感謝の言葉しかありません。2年前に会長になり、どうしていいのかわからない私に色々と言葉をかけて頂き、支えてくださって本当にありがとうございました。まだまだお聞きしたい事がたくさんあります。これからも宜しくお願ひします。

そして、今年から新しく小教区委員のメンバーになられた方、また今回も委員を引き受けてくれた方、年間行事もその時の状況で決める形となっています。

コロナ禍での小教区委員会の話し合いは、皆さんの貴重な意見の場となっています。2年間、宜しくお願ひします。

私達の祈りの場所、水巻教会が明るく開かれた教会になるようにと思っています。信徒の皆さんもご意見、ご協力宜しくお願いします。

この紋所が目に入らぬか	2面
旅の話(1)	3・4面
水巻教会の世界のなかま	4面
幼稚園から	5面
教会学校より・今日の聖人	6面
雑感	7面
お知らせ・委員会等報告	8面

「この紋所が目に入らぬか！」

主任司祭 フランシスコ・アシジ 谷口尚志

3度目の緊急事態宣言期間が解除にされてから日々、皆さんはどのように過ごされているでしょうか。ワクチンの接種を受けた方にとっては、どこか安心したような、気持ちにゆとりを持って過ごすことができたのではないのでしょうか（1回目の接種すら終わっていない人もいますが）。信仰生活は、ただでさえコロナ禍にあって多くの不安を抱えているわたしたちにさらに重い荷を背負わせるのではなく、むしろ、背負わなければならない荷が何かを深めていくことに向けられています。そのためにも気持ちにゆとりを持つことは大切ですし、それを望んで生活を送ろうとすることは自然な心の動きなのです。もちろん、ワクチン接種を望む・望まないは各自の自由ですが、少なくとも気持ちにゆとりを持って信仰生活を送ることができる背中を押してくれる動きであることは間違いありません。私たちの日々の生活と共に信仰生活もさらに充実していくよう、気持ちにゆとりを持てるように過ごしたいものです。

ところで、緊急事態宣言の期間と重なっていた6月は「イエスのみ心」に捧げられていた一ヶ月でしたが、世界中でどんなイメージとして知られているかをご存知でしょうか。よく見かけるのはイエス様をご自分の心臓を指している姿です。その心臓はいばらに包まれ、炎が噴き出しています。ヨハネによる福音書で描かれている十字架上のイエス様は、安息日に遺体をそのままにしておかないため、兵士によって槍で脇腹を刺され、そこから血と水が流れ出たこと（ヨハネ 19:34 参照）、さらに「彼らは、自分たちの突き刺した者を見る」（同 19:37）が書かれており（ヨハネ 19:37 はゼカリヤ書 12:10 からの引用とされています）その姿を思い起こさせているのです。もともとは中世に始まった信心ですが、特に1947年6月16日、ご聖体の前で祈っていた聖マルガリタ・マリア・アラコックに示された啓示、ピオ9世によって定められたイエスのみ心の祭日などによって全世界で祝われるようになりました。命を差し出すほどに私たちを愛する燃える熱意を示す姿は、まさに十字架上で命を差し出すイエス様のイメージと重なります。

私はこのイエス様のイメージを見ると、かの有名な時代劇での「この紋所が目に入らぬか！」という台詞を思い起こします（ハッとさせられて見つめる先にあるのはイエス様の燃える心臓ですが）。そして、弱さや悪さを暴かれてその場に平伏すのではなく、信仰が目覚めさせられることを体験するのです。イエス様はご自分のみ心を指し示して私たちの信仰を目覚めさせる方です。気持ちにゆとりを持ち、互いにイエス様によってハッとさせられる日々を送ることができるよう。

旅の話 (1)

岩本光弘

私も歳を取りましたので長い旅をすることは難しくなりました。それでも短い国内旅行に東京の友人たちと行くことを約束していますが、今はコロナの関係で動けそうにありません。

そこで今まで色々な所に出かけた旅の思い出を少し書いてみたいと思います。

私の旅は大きく二つのテーマに分かれます。山の旅と聖書関係の旅です。この中から、少しずつ教会の方たちに読んでいただけるような内容を選んで書いてみたいと思います。

私は20歳の時に山登りを始めました。30歳を過ぎて積雪期の北アルプスの穂高連峰に行った時、連れて行ってくれた山岳会の人たちからヨーロッパアルプスの話を聞きました。それで体力のある40歳までにぜひ登りたいと思うようになりました。これが実現したのは39歳の時でした。幸いに北九州地区にはフランス人の神父が居ましたので、神父に相談したところ神父の家族が受け入れてくれることになりました。

そのころの渡航費はとても高く、現地での滞在費より高い金額でしたが、大韓航空機で大阪からソウル・北極経由でパリに行きました。ヨーロッパに入るころ夜が明けて眼下に北欧の海岸が見えた時は感激したものです。私の初めての外国旅行がフランスでした。

パリでお世話をしてくれる方が空港に迎えに来てくれ、国内周遊の切符を用意してくれましたので、列車でアルプス地方の中心都市のグルノーブルに行きました。グルノーブル駅には神父の弟夫婦フランソアとパトリシアが迎えに来てくれました。

翌日からフランソアと二人で登山に出かけました。5日間の山旅でした。氷河の下のバカンス地を通り過ぎ、氷河の上に出るためクレバスの横の岩場を登っていた時、急に猛吹雪になって岩穴へ逃げ込んだりしましたが楽しい経験でした。氷河の横にある山小屋に一泊した後氷河の上を歩いて登山を続けました。下山後はアルプス地方の旅に出かけ、モンブランの麓のシャモニーなどへ行きました。この時のフランソア夫妻には3年前に肥塚神父とフランスに行ったときに再会しました。お互いに歳を取りましたが40年振りの再会でした。

アルプスの後は列車で南フランスのトゥールーズに行きました。ここには神父の妹が迎えに来てくれました。この滞在時に初めてキリスト教の聖地に行くことになり、トゥールーズから電車でルルドに行きました。ルルドと言う名前は知っていたのですが、聖地全体の広さや聖堂の大きさに驚きました。みんなルルドの水を汲んで持って帰っていましたが、私はコップに二杯飲んで帰りました。「俺はコップで二杯飲んできた」と話をする则みんなから馬鹿にされたのを覚えています。40年後にもう一度行きましたが、この時はミサに与かりました。

ルルドから帰ってトゥールーズの大聖堂に行きました。この教会の大きさにびっくりしたのですが、信徒席の真ん中に四角いものがありました。これは聖ドミニコの棺だという説明を受けたのですが、そんなに有名な聖人の棺が大都会の聖堂の真ん中にあることに驚きました。この時の旅は案内をしてくれた人との会話は全部英語でしたので帰国してからも聞き間

違いかと思っていました。今年の正月に箱崎教会のピーター神父(ドミニコ会)に会ったときトゥールーズの聖堂のことを聞きましたが、間違っていなかったと分かりました。40年経ってからの確認でした。

水巻教会の世界のなかま となりひと

今回は **クインニュー**、Quynh Nhu Shuy Hye さんを紹介します。

①youは何しに日本へ?

日本で働いてお金を稼ぎ、日本に住みたかった。

②何処でどんな仕事をしていますか?

宗像市で野菜を作っています。他にも数人のベトナム人が働いています。

③住まいは?

会社の近くで同僚とルームシェアしています。

④困っていること有りますか

今は何も有りません。

⑤楽しみはなんですか?

皆とお話できることです。

⑥日本に来て感じた事は?

日本人は皆さん親切です。

日曜ミサは東郷から電車で来たそうです。先日のミサでは可愛いアオダイ姿でベトナム語での共同祈願の奉仕をして下さいました!

一緒に働く仲間。左から二番目がクインニューさん。



インタビューの後彼女からメッセージが届きました。緊急事態宣言解除されたこの日、ミサから帰ると会社の組合の人から呼び出しを受け、外出禁止の命令や同僚が帰国命令を受けたが、会社側との話し合いの結果注意を受けただけで厳しい処分は避けられて、その後はミサも与ることが出来たようです。

世界中のどこにいてもキリストに繋がる仲間、となりひと ですから皆で応援しましょう



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 8月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

幼稚園で育てているカブトムシの幼虫が成虫になりました。土の中での変化を子どもたちはよく観察し、「さなぎになったよ」「黒くなったよ」と教えてくれました。



七夕の日に向けて、将来の夢やお願いごとを短冊に書きました。お願いごとの中には、『家族が幸せになりますように』『赤ちゃんが元気に生まれますように』など、自分ではない誰かのために願う子どもたちもいました。神父様の宗教の時間では、短冊のお話をして頂き、願い事は願うだけではなく、自分で頑張る努力をしないと叶わないことをきき、子どもたちの願いが叶うように見守っていきたいと思います。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

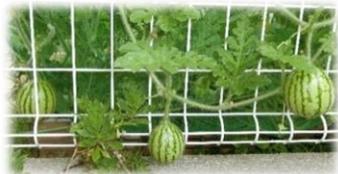
e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>



三角つなぎや星飾りを作り、ご家庭で短冊に願い事を書いていただき、笹に結んで、「七夕祭り」をしました。みんなで歌った、笹の葉サラサラ～の歌声がお空まで届いたでしょうか。

一人ひとりの願いが叶いますように！



6月の初めに植えたスイカ、カボチャ、キュウリ、ナス、トマトが、ぐんぐん大きくなりました。キュウリは塩もみにして、朝のおやつに頂きました。カリカリ夏の味がしました。ナスは給食のお味噌汁に入れてもらい、美味しく頂きました。

スイカも実をつけ始めました。大きくなって、中が赤くなるまで育ちますように！色々な野菜のお陰で毎日が楽しみです。

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母 幼稚園・マリア子どもの家
園長 水口 由美 教職員 一同



教会学校のページ



6月27日

前回4月25日の教会学校以来、久しぶりの集まりでした。残念ながら小学生は宮本絹香ちゃんだけの出席でしたが、弟のまさき君(聖母幼稚園)、ご両親も同席されて、当日の福音について勉強しました。驚くことにまさき君は、神父様の質問に物怖じせずちゃんと受け答えして、ミラクル園児ぶりを存分に発揮していました!

そのあと、まだ侍者の経験のない絹香ちゃんは祭壇で侍者の流れを勉強しました。近いうちにまた新しい侍者奉仕者が誕生することでしょう(*^*)v

コロナ収束にはもうしばらく時間がかかりそうですが、8月に安全対策をしっかりとった上で昨年同様子ども達の納涼会を計画してます。夏休みの小さな楽しみの一つになればと思います。



今月の聖人 11日 **聖クララおとめ** 1194年-1253年
クララは、イタリアのアシジの名門貴族の家に生まれました。その名が「光り輝くもの」を意味するように、清らかで、信仰深い女性として育ちました。

18歳のときに聖フランシスコと出会い、彼のキリストに倣う徹底した生き方に感銘を受け、自らも全財産を捨てて彼に従い、ポルティウンクラの教会で修道女となりました。

そして1215年に、同志たちとともに、ベネディクト会から提供されたサン・ダミアノ聖堂に女子修道会「クララ会」を作りました。彼

女の徳を慕って多くの女性が集まり、クララの母や姉妹も修道院に入りました。クララは修道院の院長として、聖フランシスコの精神のもとに会員を導き、生涯をささげました。

※日本では、上越、桐生、八王子、西宮、小郡に聖クララ会があり、観想生活を送っています。



雑感

海老津地区・山口一隆

今、岡垣町のシルバー人材で、「剪定」をやっています。シルバー人材というのは、前の会社を定年などでリタイアした人材を、働く意思があるのなら、有効活用しようと国、地方の市区町村が支援する組織です。岡垣町には剪定のほか、草刈り、草引き、町の駐車場の管理、弁当配送、そのほか町の企業の清掃管理などがあり、仕事も雑多です。

仕事に「剪定」を選んだのは、たまたま、サンリーアイの管理と剪定の募集があったからで、特に興味があったわけではありません。むしろ、家では「お母さんのお仕事」になっていました。サンリーアイの管理は週二回、二時間ほどの仕事で、サンリーアイの周囲のゴミを集めながら樹木の育成具合を管理するものです。週一回の「剪定」がメインで1日拘束7時間実働6時間の作業。

これが今、面白くなっています。自分でも考えてもみなかった程ハマっています。最初はどの枝を切っているのやら迷っているばかりでしたが、1年過ぎてから、それが見えてきました。さすがに、大枝を切る際は躊躇しますが、中以下の枝ならバサリ、バサリと落とします。なかなか気持ちのいいものです。

年間のスケジュールはほぼ決まっていて、それに沿って作業は進みます。4月は山茶花、5月は椿、6月さつき、このあい間にアベリア、柘植、高木などの作業が入り、作業は途切れません。

昨年はコロナ禍・緊急事態宣言が発出され、剪定作業ができなかった時期がありました。切る時機を逸した山茶花、椿、さつきなど今年の開花がやや不全でした。剪定の時期がいかに大切かを痛感させられました。今年は緊急事態宣言中も作業が行われたため予定通り、山茶花、椿、さつきを剪定することができたので、来年在望です。





★聖母被昇天のミサ★

日時：8月15日(日)

午前9時～ 午前11時～

今年も、コロナウイルス感染対策として
主日のミサと同様に2部制になります。

★お盆時期の納骨堂解放について★

8月13日(金) 午前10時～12時

8月15日(日) 午前10時～12時

※なお、14日(土)は解放しませんので、
来られる方は気を付けられてください。

★特別献金★

6月27日 聖ペトロ使徒座への献金

43,000円

ご協力、ありがとうございました。

★教会の屋根★

聖堂屋根のつなぎ目のカバー下から錆
が出ていることが、塗装業者の指摘で判明
しました。今後調査の上、業者に見積依頼
を行う予定です。

委 員 会 等 報 告 2021年7月分

7月度小教区委員会 7月4日

1. 行事予定

- ・8月15日(日) 聖母の被昇天

※合同ミサか状況次第

2. 議題

(1) 新委員の紹介

新役員の紹介・引き継ぎをお行いました。

旧役員の皆さまお疲れ様でした。

(2) 各委員会報告

①納骨堂委員会

お盆の対応について

➡納骨堂は神父様に連絡をお願いします。

②広報委員会

Facebook を立ち上げ。6月号はコロナの
ため発行できず

③営繕委員

GWにスロープの塗装を完了しました

(3) 役員より

教会役員用に、パソコン、プリンタを購入し
ます。

➡神父様からプレゼント(教会役員としてパ
ソコンがなかったので)

(4) 屋根の錆について

・つなぎ目部分から錆が出ている。

・状況から屋根の建築業者に診断を依頼す
る予定

➡□複数の業者から見積を依頼する

(5) 次回の小教区委員会

9月5日

※屋根対応の見積が揃えば、前倒し実施の
可能性あり